

きらり いわた 人

ゴキブリに注ぐ愛は無限大

やなぎ さわ し ず ま
柳澤 静磨さん

1995年生まれ。市内在住。竜洋昆虫自然観察公園の職員。休日は家で映画を見ながら、昆虫の標本作りや論文作成にいそしむ。実はゴキブリが苦手だったが、あることから今や自称ゴキブリリストと名乗るほどのゴキブリ好きに。気になることはとことん調べる、好奇心旺盛な性格。

昨年、日本で35年ぶりにゴキブリの新種を、竜洋昆虫自然観察公園、鹿児島大学、法政大学などからなる研究チームが発見しました。チームの一員である竜洋昆虫自然観察公園の柳澤静磨さんにお話を伺いました。

新種を発見した感想は？

第一声は「変なの出てきた！」です。

珍しい色をしたルリゴキブリが沖縄県与那国島にいたという話を聞いて、どうしても捕まえたくなり昆虫採集に行きました。雄と雌の幼虫を2匹捕まえて、世話をしていたら羽化したのですが、その雌が今まで知られていたルリゴキブリと色も形もまったく違い「新種に違いない！」と思いました。それから地道に研究を進めて論文を作成し、ようやく発表することができました。新種だと正式に発表できて、とてもうれしいです。

苦労したことは？

論文を英語で書いたことです。人生初の論文作成で、完成まで2年半かかりました。論文の作成から投稿、修正までが全部英語で、まずは翻訳から始めないといけない状況でした。修正が入った真つ赤な原稿を見るたびに、とても落ち込んだことを覚えています。ゼロからのスタートでしたが、チームの協力のおかげで乗り越えられました。

ゴキブリ好きになったきっかけは？

2017年に石垣島に昆虫採集に行き、森に棲むタイプでダンゴムシのように丸まるゴキブリを捕まえたことです。自分の手の中で丸くなった姿を見て「本当に丸くなった！」と感動でいっぱいになりました。ゴキブリにもいろいろな種類がいることを知り、調べれば調べるほど好きになりました。

最近まで触れなかった・・・？

実はそうなんです！もともと苦手なで、凶鑑のゴキブリのページにセロハンテープを貼り、開けないようにしていたくらいです。家に出るタイプのゴキブリはつい最近まで触れませんでした。ある日、ゴキブリたちの世話をしていたら、一匹が腕に登ってきたんです。それを、何も考えずにつかんでケージに戻しました。その時は無意識でしたが、自分の成長を感じました。

今後の目標は？

さらなる発見を求めてゴキブリ研究を続けていきたいと思っています。そこで見つけたことをきっかけに、ゴキブリの魅力を伝えられる面白い企画をもっと考えたいです。嫌われがちな生き物ですが、僕にとっては一番カッコよくて一番かわいい昆虫です。彼らの知られざる「本当の姿」をこれからも探求していけると思うとワクワクします！